

富山市社会福祉審議会児童福祉専門分科会概要
(第24回子ども・子育て会議)

1 開 会 (13時30分から)

(定員数：委員の過半数が出席していることを確認。池淵委員、石動委員、草野委員、棚瀬委員、橋本委員、八木委員 各委員欠席)

2 こども家庭部長挨拶

3 議 事

(1) 幼保連携型認定こども園の認可について

【主な意見等】

委 員 同法人が運営している既存の認定こども園の園長と新設の認定こども園の園長は兼任できるのか。また、既存の認定こども園の園長はどなたか新しい方がなられるのか。

事 務 局 兼任も可能だが、法人からは、既存の認定こども園の園長に新しい方を選出されると聞いている。

委 員 保育教諭の配置の状況をみると、1歳児対応の職員が新規採用職員を含めた経験年数の短い職員で配置されている。0～2歳児保育の需要が高い地域であり、定員に達するほどの児童が入所した場合、この配置で十分に対応できるのか懸念されるが、どのように考えているのか。

事 務 局 0歳児対応の職員の中には経験年数の長い職員が配置されており、0・1歳児同部屋で保育する中で、フォロー体制がしっかり確保されているものと考えている。

委 員 現在既存の認定こども園で勤務している職員が新設の認定こども園で勤務することもあると思うが、認可申請の段階でそのような話は出ていないのか。

事 務 局 経験年数0年と表記している職員の中にも、既存の認定こども園で勤務している方もいると聞いている。10月時点で全く経験がない職員は少ないものと考えている。

委 員 育休中の職員がいるが、配置人数に含めているのか。

事 務 局 資料1の配置人数には含めずに、審査をしている。

- 委員 育休中の職員が復帰した場合、1名増員となるのか。
- 事務局 そのとおり。
- 委員 新設の認定こども園に配置される職員は、既存の認定こども園で勤務している職員なのか。もしくは法人としてあらたに採用する職員なのか。
- 事務局 保有資格の登録年月日で経験年数を確認しているため、経験年数0年の方は、新規採用と思われる。それ以外の方は、基本的には既存の認定こども園から配置される職員が多いと認識しているが、中には他の法人からの移籍や今回を機に保育業務に復帰される方もいると思われる。
- 委員 非常勤職員で「夕方対応」と「朝方対応」とは具体的にどのような勤務をする職員なのか。
- 事務局 「夕方対応（保育教諭）」は、対応児年齢は固定せず、延長保育の対応も含め、夕方中心に配置される職員である。「朝方対応（看護師）」は、0歳児の保育に入ることもあるほか、児童の健康観察や体調不良児への対応のフォローなどの業務をされる方で朝中心に勤務をする職員である。
- 委員 夕方は何時まで勤務するのか。夕方は職員が手薄になるのか。
- 事務局 施設は、朝7時から夜8時まで開設する予定であり、夕方対応職員は、後半の時間帯の勤務になると思われる。夕方は児童が帰って減っていくので配置が必要な職員も減っていく形になり、児童の登園状況によって柔軟に人員を充てられるような考えで職員配置を計画されている。
- 委員 施設が出来上がるのが9月半ばで10月1日開設となると、準備期間が約2週間となり短いと思われるが、開設時点で定員を満たす可能性はあるのか。
- 事務局 今後、児童の募集をかけることになるが、これまでの例を踏まえると、新規開設時点では、3歳未満児中心の応募になり、3歳以上児の応募はほとんどないと思われる。開設当初から定員に達するようなことは考えられず、少ない受入れ人数からスタートになると考えている。
- 委員 他の園から移るということもあるのでは。
- 事務局 新しい園に移りたいという希望も若干名あるとは思いますが、まだ受付を行っておらず現時点では、はっきりしたことは申し上げられない。

委員 子どもの多い地域での新設であり、受け皿が確保されることはよいことである。さまざまな懸念事項について先ほどからも指摘があるが、現時点で基準にも適合しており、今後、経験をつむことでより良くなっていくものと考えられるので、承認していただきたいと考えている。

委員 地域の要望等、どのような経緯があって、今回当法人が新たな認定こども園を申請されることになったのか。他の法人が新設する動きはなかったのか。

事務局 地域の要望があったかという点についてはこの場ではっきり確認できず、お答えできないが、本市としても保育ニーズがあると認識している地域において、当法人が新設する計画をされたため、整備を進めてきたという状況である。

(14時30分終了)